

事業報告書

団体名	越河地域振興会
代表者役職・氏名	会長 石川義博
事業名	越河のこれからを語る会
実施した事業の内容 ・活動内容 ・実施日時 ・場所 ・参加人数 等	第1回 越河のこれからを語る会 日 時：7月20日（土）9時30分～11時30分 場 所：越河公民館 参加人数：20名（予定人数 25名） 活動内容：「第六次白石市総合計画 越河まちづくり宣言」の実現に向け令和5年度に、地区計画を策定した地区計画基本方針1～3に該当する団体・個人がテーマごとに別れ、ワークショップを行なった。 始めに、ミニ講義＋情報共有として5団体から活動報告があり真剣に耳を傾けていた。 ワークショップでは、基本方針を基にテーマを設け今年、来年できたらいいことを考え優先して取り組みたいこと、自分が協力行動できることなど話し合った。 テーマ：①続ける・工夫・改善・新しく ②何をどのように・いつ頃など ③団体・個人・会社／学校 話し合いの内容は、別紙添付とおりです。 第2回 越河のこれからを語る会【視察研修】 日 時：9月10日（土）9時00分～16時00分 場 所：大崎市古川 宮沢地区公民館・宮沢地域振興協議会 参加人数：20名（予定人数 30名） 活動内容：4テーブル別れ、遠藤智栄先生にファシリテーターになっていただき、宮沢公民館長尾さんの概要説明で研修がスタートした。 ・地区の活動や事業・地区計画 ・公民館事業 ・住民や若手の参画と工夫

・事業や活動づくりの工夫

・地区内外との関わり

上記について智栄先生とのやり取りで話が進んでいった。

アンケートは、あまり気にせず話し合いを重点にしている。

同年代との口コミ等で参加者を募っている。

山形県尾花沢市と地区交流を背伸びせず既存の事業で交流が続いている。

参画の工夫については、会議開催について空気づくり、場づくり、LINEでの共有化など話された。

40代が中心に地域活動に参加している。

講師については、専門的な人でなく地元の方を講師としてお願いしている。など意見交換を行なった。

第3回 越河のこれからを語る会

日時：11月 2日（土）9時30分～11時40分

場所：越河公民館

参加人数：18名（予定人数 20名）

活動内容：3グループに分かれ、視察報告として9月10日に大崎市宮沢地区公民館視察研修時に参加者の皆さんから付箋に記入していただいたものをまとめ配布した。

また、各グループの代表者が視察研修の感想を述べた。

地区計画年間報告を参加した団体の代表が基本方針1～3について活動報告をしていただいた。

基本方針1⇒○越河小唄の会

○小学校＋地域住民＋JA

基本方針2⇒○越河地域振興会

基本方針3⇒○民生児童委員

○生活支援コーディネーター

各団体から、本年度の活動報告をしていただき取り組みや今後の目標について話された。

参加者から、ふりかえり＆今後のアイデア等、付箋に記入いただき活発な意見交換が出来た。

事業の成果や効果	令和３年度から取り組んできた「越河まちづくり宣言」「越河地区計画」について様々な意見交換がされてきた。地域の課題をすべて解決は出来ないが、越河地区での生活維持や将来どのような地域にしていきたいかを考えて、住民同士が同じ方向を向いて進み長期的な視点で住民主体の「まちづくり」を地域住民と共有しながら目指していきたいと考える。 各団体とも、会員募集を積極的に推進し若い会員を巻き込みながら今後の展開に注目したいと思う。
今後における事業展開	地区計画は、あくまでまちづくりの取り組みにおける手段のひとつで地区計画の必要性について各団体と情報共有しながら取り組んでいきたいと考えている。 当地区も、まちづくり宣言を達成するために「越河これから塾」をきっかけに「越河小唄の会」「つながる越河の会」「みちしるべの会」「ころ柿プロジェクト」等、今後の活動に注目したいと考えている。 各活動での対話の機会をつくり振り返りをしたり改善を話したり、やってみたいことなども話している中から見つけ、まずは自分たちで楽しく活動できる土台をつくる必要があると思う。 また、さまざまな活動があることを知ってもらう機会をどのタイミングで作るかも大切になってくる。 今後は、若い人たちの参加で化学変化がおきることを期待したい。

【地域づくり団体等→まちづくり協議会等】

様式第Ⅴ号④

収 支 決 算 書

団体名 越河地域振興会

1. 収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
白石市人と地域が輝く 未来共創交付金	444,970	444,970	
計	444,970	444,970	

2. 支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	うち交付金対象額
講師謝金	191,920	191,920	191,920
借 上 料	182,080	182,080	182,080
消耗品費	70,970	70,970	70,970
計	444,970	444,970	444,970

※支出を証する書類（領収書等）の写しを添付すること。